

令和7年度（令和6年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
国語

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。

マーク例 (良い例) 
(悪い例)   

- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●1	○1	○1	○1	○1
○2	●2	○2	○2	○2
○3	○3	●3	○3	○3
○4	○4	○4	●4	○4
○5	○5	○5	○5	●5

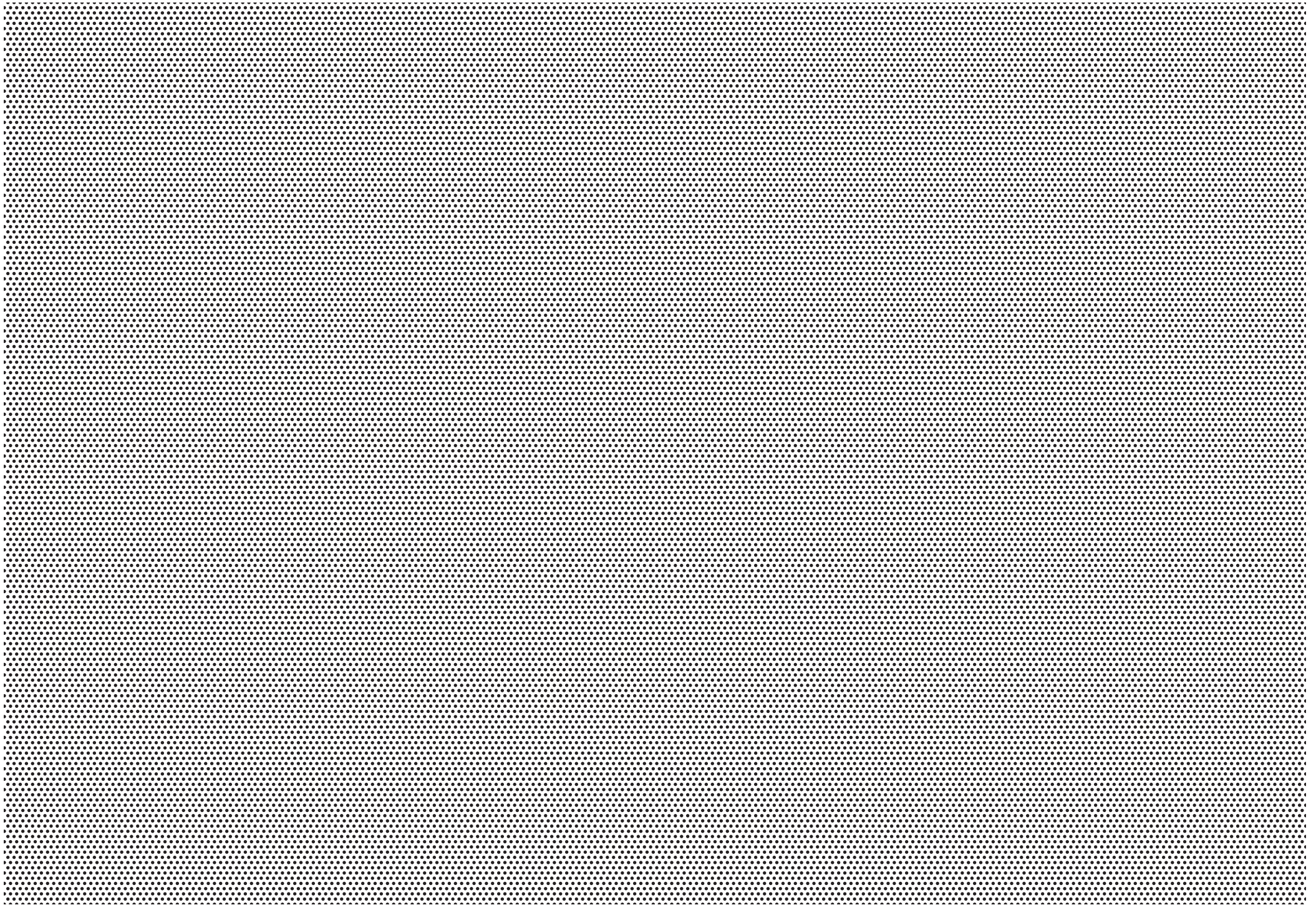
記入例

（受審番号12345の場合）

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校・高等学校】、【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようアの解答欄の○bをマークしてください。
（例）

ア	a	●b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



【共通問題】

第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) コウジョウ的な水不足に悩まされる。 ア

- a ソッコウ性のある薬を飲んで明日に備える。
- b 年末コウジョの書類を作る。
- c 学問の進歩にコウケンする。
- d 毎年コウレイの行事に参加する。
- e 代表団は中国でコウゲウを受けた。

(2) 彼はあの銀行のショウガイ担当だ。 イ

- a 他国の国内政治にカンショウしない。
- b 古代ギリシヤは西洋文明ハッショウの地である。
- c 長年の功労をヒョウショウする。
- d 政権をショウウアクする。
- e 強いショウウゲキに備える。

(3) 世論の風潮にテイコウする。 ウ

- a 学生寮のキテイを守って生活する。
- b 海外の大学とテイケイし、異文化プログラムを立ち上げた。
- c 大学を卒業して、修士カテイに進学する。
- d 今回の成功のキテイは、日ごろのたゆまぬ努力にある。
- e 並タイテイの技術では、この製品は造れない。

(4) ことわざのユライを調べる。 エ

- a その患者は新薬でチュシた。
- b 成田発、韓国ケイユ、パリ行きの飛行機に乗る。
- c ユカイな話を聞いたので、晴れやかな気分になった。
- d 植物性のユシは、コレステロールを下げる効果があるといわれている。
- e 必要物資を現地にクウユした。

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 熟語の読みとして誤っているものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

a 軋轢 あつれき

b 屹立 きつりつ

c 誤謬 ごびゅう

d 塵芥 じんかい

e 上梓 じょうそう

(2) 「貌」という漢字を構成する部首「豸」の名称として適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

a きばへん

b らいすき

c いのこへん

d むじなへん

e のごめへん

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 四字熟語とその意味として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

a 雲散霧消 ↓ 雲や霧がなくなり、全てをはっきりと見通せること。

b 一騎当千 ↓ 一騎で千人を相手にできるほど強いこと。

c 三寒四温 ↓ 寒さ温かさが交互に訪れ、次第に春めいてくること。

d 明鏡止水 ↓ 心が澄みきって平静なこと。

e 比翼連理 ↓ 男女が深い愛で結ばれ、仲むつまじいこと。

(2) 慣用句の使い方として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

a 就職をするとき、大学の恩師に口をきいてもらった。

b その仕事は簡単すぎて、私の手に余る。

c 尻が長いお客さんと話していて、帰るのが遅くなる。

d 彼のきざな話し方は、どうしても鼻につく。

e 弟の入浴は烏の行水で、すぐに風呂場から出てくる。

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の各文の傍線部にある活用した「れる」「られる」について、自発の意味で使われている助動詞を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- a あの美術館ではモネ展が開かれて|いる。
- b この写真を見ると中学時代が思い出される|。
- c 授業中に居眠りをしていて、友達に笑われ|た。
- d 無理をしないで、登れ|るところまで登ることにしよう。
- e 遠くからお客様が来られることになった。

(2) 次の各文の傍線部「と」について、逆接仮定条件の用法で使われている接続助詞を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

コ

- a 食べ終えると、外出の用意を始めた|。
- b 明日、晴れると|いいね。
- c 気温が下がると雪が降る|。
- d 私が言いだそう|すると、彼は困ったような顔をした。
- e と言われようと|平気だ。

第2問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(養老孟司『ものがわかるということ』による。一部省略等がある)

(注)『遺言』では、リンゴはそれぞれ異なるのに、ヒトが an apple を概念としてのリンゴとして理解できることが説明されている。

1 傍線部①「そこ」とあるが、その内容として最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。 ア

- a 能力
- b 意識
- c 感覚
- d 世界の違い
- e 脳

2 文章中の ② に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。 イ

- a そのため
- b ところが
- c たとえば
- d くわえて
- e たしかに

3 文章中の ③ ④ ⑤ に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の a～eの中から一つ選びなさい。 ウ

- | | | |
|---|-----|---|
| a | 箱 A | ③ |
| b | 箱 A | ④ |
| c | 箱 B | ⑤ |
| d | 箱 B | ⑤ |
| e | 箱 B | ⑤ |
-
- | | | |
|---|-----|---|
| a | 箱 A | ③ |
| b | 箱 B | ④ |
| c | 箱 A | ⑤ |
| d | 箱 A | ⑤ |
| e | 箱 A | ⑤ |
-
- | | | |
|---|-----|---|
| a | 箱 A | ③ |
| b | 箱 B | ④ |
| c | 箱 A | ⑤ |
| d | 箱 A | ⑤ |
| e | 箱 A | ⑤ |
-
- | | | |
|---|-----|---|
| a | 箱 A | ③ |
| b | 箱 B | ④ |
| c | 箱 A | ⑤ |
| d | 箱 A | ⑤ |
| e | 箱 A | ⑤ |

4 傍線部⑥「言語から抽出された論理は、圧倒的な説得性をもちます」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

工

- a 言葉を聞いて理解したことから作られた論理は客観的な真実なので、誰であろうと納得するものだから。
- b 言葉から生まれた論理は解釈する人によって内容が変わるので、批判的に検討しようとする人間の性質にあっているから。
- c 言葉から生まれた論理は多くの人の了解事項となるので、同じにしようとする性質をもつ人間は納得しやすいから。
- d 言葉から生まれた論理は人間にしか作り出せないものであるので、人間は論理を尊重しようとする文化を作ってきたから。
- e 言葉から生まれた論理は誰にとっても全く同じ内容を表しているので、人の本能的な考え方にあっているから。

5 傍線部⑦「現実」の対義語を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

才

- a 理想
- b 人工
- c 偶然
- d 感情
- e 相対

6 次の文は、文章中の【A】～【E】のどこに置くのがよいか。最も適切な箇所を、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

力

そこには文字によって膨大な記憶が蓄えられています。

- a 【A】
- b 【B】
- c 【C】
- d 【D】
- e 【E】

7 傍線部⑧「状態」と同じ組み立てで構成されている熟語を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 非常
- b 天地
- c 作品
- d 道路
- e 消火

8 傍線部⑨「ビデオ映画の例」をとおして筆者はどのようなことを述べようとしているか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ク

- a 同じ映画を何度も繰り返し見て見ることで、映画を見ることの重要性がわかってくるということ。
- b 映画は何度再生しても同じであるため、人間も同じ状態で見続けることができるということ。
- c 映画はドラマティックに動いているので、人間の興味を惹くが、それは長続きしないということ。
- d 映像の中には複雑な情報が埋め込まれているので、何度見ても新しい発見があるということ。
- e 映画は何回再生しても変わらないが、それを見ている人間の受けとめ方は変わっていくということ。

9 本文の論の展開や表現上の特徴について説明したものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ケ

- a 人間の認知の仕方について、年齢の異なる子どもの実験結果をもとに説明をしたうえで、現代社会において人間が情報と関わるうえでの問題点について述べている。
- b 人間とチンパンジーの知能の違いについて、研究や理論を引用して分析したうえで、情報や動画があふれている現代社会の課題とその解決策について述べている。
- c 読者が興味をもち続けられるように、問いと答えを繰り返しながら人間の知能について論じたうえで、情報社会に適応する人間の特徴について述べている。
- d 抽象的な概念をもとに発達心理学の理論を引用しながら、人間の意識について定義をしたうえで、変わらないものに囲まれている現代人の課題について述べている。
- e 人と動物の脳の能力が大きく異なるということを確かめた科学者の実験をもとに、脳に関する科学的な知見が明確に読者に伝わるように述べている。

10 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

コ

- a 記号や情報は作った瞬間に固定されるので、正確な事実や人間の行動を記録するのに適しており、脳の記憶という能力を補助する外部記憶としての役割が拡大し、情報社会は今後さらに発展していくと予想している。
- b 同じことを意識するように人間の脳は働いたため、動いているように見えるが変化しないという特性をもつ映像に対し、人間が説得力を感じやすくなることが、情報社会の課題であると述べている。
- c 現代の人間は情報社会の中で、実際は変わっていないが変化しているように見える記号や情報に囲まれて生活しているため、自分が変化していることに気づきにくくなっていることを指摘している。
- d 人間の脳は、差異を無視して同じにしようとする性質を持っているため、記号や情報に共通するものを見つけ、情報社会の中で新しい価値を生み出すことができるだろうと論じている。
- e 現代社会では、人間は周りに溢れている記号や情報を交換しながら生活をしており、新しいものを作り出せる一方で、記号や情報から生まれたものは人間が理解できる限界を超えてしまっていると主張している。

第3問 次の文章は『更級日記』中の一節である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（『更級日記』による）

（注） おとと……「おとうと」の略。男女ともに、兄弟姉妹の年少の方をいう。ここでは次女である「妹」の意味。

1 傍線部①「すずろにあはれなる」の意味として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ア

- a 何となく物悲しい
- b 理由があつてふさぎ込む
- c むしようにかわい
- d ひどくがっかりする
- e 鮮明に思い出す

2 傍線部②「来つらむ方も見えぬ」とは、具体的にどのようなことを表しているのか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

イ

- a 作者が物語をどこまで読み進めたのかわからなくなってしまったこと。
- b 大納言の娘が最初から近くにいたことが作者にはわからなかったこと。
- c 姉がどこから現れたのか作者には思い当たらなかったこと。
- d 物語を読んでいたため時間の経過に作者が気付かなかったこと。
- e 猫がどこからやってきたのか作者には見当もつかなかったこと。

3 傍線部③「すべて」は、どの語にかかるか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

- a 寄らず
- b ありて
- c ほかざまに
- d むけて
- e 食はず

4 傍線部④「もの騒がしくて」を具体的な状況が分かるように解釈した場合、最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

- a 家に関する姉の悩みがひどく、充分に猫の世話ができなくて
- b 猫を秘かに飼っているので、周囲に隠すのが大変で
- c 姉の看病のため、家中が何となく取り込んでいて
- d 猫の気まぐれに付き合うため、世話をする人が慌ただしくて
- e 猫の鳴き声が大きいため、おとなしくさせるのが大変で

5 傍線部⑤「なほさるにてこそは」の内容として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 夢を見ていた姉はどうして猫を呼ぶのだろうと、使用人たちが思っていること。
- b 猫は何かわけがあつて鳴くのだろうと、作者が気にも留めなかったこと。
- c なぜ姉と作者は猫の面倒を見ないのだろうと、使用人たちが思っていること。
- d 目を覚ました姉はきつと猫の面倒を見るだろうと、作者が思っていること。
- e 猫は何かを訴えたくて姉を呼んでいるのだろうと、使用人たちが思っていること。

6 傍線部⑥「こち率て来」を品詞分解したものとして正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a 名詞＋四段活用動詞の連用形＋接続助詞＋カ行変格活用動詞の終止形
- b 名詞＋上二段活用動詞の連用形＋接続助詞＋カ行変格活用動詞の終止形
- c 代名詞＋上二段活用動詞の連用形＋格助詞＋カ行変格活用動詞の命令形
- d 名詞＋四段活用動詞の連用形＋格助詞＋カ行変格活用動詞の終止形
- e 代名詞＋上二段活用動詞の連用形＋接続助詞＋カ行変格活用動詞の命令形

7 傍線部⑦「夢にこの猫のかたはらに来て」とあるが、「かたはらに来」た猫は、この家に来た理由をどう語っているか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 人恋しさのあまり、可愛がつてくれる人のところにやってきたということ。
- b 亡くなった乳母が昔を懐かしがつて、猫となり中の君のもとを訪れたということ。
- c 娘に会いたいという大納言の願いに応え、猫となってやってきたということ。
- d 中の君が大納言の娘をしみじみと思ひ出してくれるので、中の君のもとに来たということ。
- e 前世でやり残した大事なことを果たすべく猫に生まれ変わったということ。

8 傍線部⑧「中の君」とは誰を指しているか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a 大納言の御むすめ
- b 姉なる人
- c 作者
- d をかしげなる人
- e 大納言の姫君

9 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

ケ

- a 作者は、自分の乳母と同時期に亡くなった侍従の大納言の御むすめとともに過ごした日々を残された衣装から思い出し、ありし日の姿を想像していた。
- b 作者は、夜更けまで物語を読んでいた折にやってきた猫を姉なる人に言われた通り、人には黙ってこっそりと飼育し、猫もとてもよく姉妹になついてそばにいた。
- c 姉なる人の夢の中に出てきた猫は、猫に生まれ変わってしまったために、再び乳母として仕えることのできない悲しさを切々と姉妹に語った。
- d 夢の中に出てきた猫は、話を語る様子がとても優雅に見えたとともに、その声が側にいる猫の声にそっくりだったので、大納言は娘の生まれ変わりを確信した。
- e 作者は、夜更けまで物語を読んでいた折にやってきた猫が、侍従の大納言の御むすめの生まれ変わりだと思ったので、父である大納言にその旨を言上した。

第4問 次の漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。ただし、設問の都合上、文字を改め、送り仮名・返り点を省いた箇所がある。

〔張釋之馮唐列傳第四十二〕『史記』による〕

（注） 釋之……………張釋之。

虎圈……………虎を飼っているところ。

上……………君主。主上。ここでは漢の文帝のこと。

上林尉……………上林苑を管理する役人。

禽獸簿……………飼育している鳥獸の名や数を記録した帳簿。

齋夫……………小役人。

響應……………響が声に応じて起こること。

絳侯周勃……………漢の初期の大臣。絳侯に封ぜられた。

東陽侯張相如……………漢の初期の大臣。東陽侯に封ぜられた。

數……………まねる、似る。

利口捷給……………口達者で応接によどみがないこと。

刀筆之吏……文書や法律を掌る役人。
 亟疾……短時間で物事を処理すること。
 苛察……過失を見つけてきびしく責めたてること。
 陵遲……次第にすたれていくこと。
 景響……かげと反響。反応が速やかであることのとえ。
 舉錯……登用と罷免。

1 二重傍線部A「豈」、B「然」の読みとして最も適切なものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。A ア B イ

A「豈」

- a まさに
- b けだし
- c あに
- d すべからく
- e およそ

B「然」

- a ついに
- b しかして
- c よりて
- d そのまま
- e しきりに

2 傍線部①「從旁代尉對上所問禽獸簿、甚悉」の解釈として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ウ

- a 文帝が尋ねた鳥獸の帳簿は細かいことであつたため、実際に飼育に当たっている者が代わりに答えた。
- b 鳥獸の帳簿がすぐに用意できなかったため、文帝の質問に対しては、臨時に小役人が答えることにした。
- c 小役人は尉の代わりに文帝のそばに従い、文帝が鳥獸の帳簿についてよく理解できるように最善を尽くした。
- d 文帝が満足できるように、鳥獸の帳簿の隅々まで熟知している尉が返答を交代することにした。
- e 文帝が尋ねた鳥獸の帳簿について、尉に代わって小役人が答えたが、その返答は極めて行き届いたものだった。

3 傍線部②「其能」の「其」が指す人物として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

工

- a 齋夫 b 上 c 上林尉 d 釋之 e 文帝

4 傍線部③「吏不當若是邪」の書き下し文として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

才

- a 吏、當たらざるといえども是くの若くや
b 吏は當に是くの若しといわざるや
c 吏、當たらざること是くの若しか
d 吏は當に是くの若くなるべからざるか
e 吏、當たらざるは是くの若しとなるべきか

5 傍線部④「天下土崩」と述べられているが、そうなった直接の原因として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

力

- a 法を形式的に作成したため、血の通った裁きを通り越し、形骸化した判決を導くだけになったから。
b 他人を思いやる気持ちを軽んじた結果、人民はお互いの秘密を密告し批判し合うようになったから。
c 法を厳しくして非違行為を取り締まったため、かえって実際の人民の生活にゆとりがなくなったから。
d 天子の權威と権限を重んじすぎた結果、誰もが自分の過ちを隠し天子に媚びへつらうようになったから。
e 人民を思いやる仁政を敷いたわけでもなければ、天子も自分の失政を聞かされるわけでもなかったから。

6 傍線部⑤「天下隨^レ風靡靡、爭爲^二口辯^一、而無^中其實^上」とは、具体的に何がどのようなことを指しているのか。その説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 天下の人々が法を守らず互いに争い、法を離れた口論を繰り返し誠実さを失うような風潮に陥ること。
- b 天下の人々が表面上の流暢さを良しとする風潮になびき、口先だけの弁舌を競い合って、その実を失うこと。
- c 上は天子から下は人民に至るまで、皆が口論に明け暮れた結果、他国の侵略を受け国が亡びること。
- d 我が国の臣下が墮落した風潮に染まり、勤勉さを失って実のない口論だけを繰り返すようになること。
- e 天下を治める天子が自ら墮落した生活を送り、臣下はそれぞれが勝手に口論をし政治が停滞すること。

7 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a 文帝が上林苑に行幸した際、尉はその下問に十二分に答えられなかったが、代わりに嗇夫がよどみなく言上できたため、文帝の賞賛を受け、苑の上級職に昇進することができた。
- b 釋之は上林苑での文帝の発言に対し、絳侯周勃と東陽侯張相如を例としながら、なぜ漢が滅ぶに至ったのかの理由を説明し、尉を罰しないよう、やんわりと文帝に上奏した。
- c 秦が勃興した最大の理由は、刑法を厳しくしそれに則って国政に当たったからであり、情実を排したがゆえに不公平な裁きが行われなくなったことにある。
- d 絳侯周勃と東陽侯張相如は漢の初めに大功を立て諸侯に取り立てられたが、口下手で、議論の際にも自分の思っていることを口に出して言うことができなかった。
- e 釋之は、文帝の人物登用や罷免のあり方を批判し、人事に公平性が保たれず、それがおろそかなれば、過去の漢のように速やかに国が瓦解してしまうことを説いた。

特別支援学校の受審者は二九の二六へ進んでください。

【選択問題 中学校・高等学校】

第5問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 故事成語とその説明として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ア

a 「他山の石」

↓『詩経』小雅の一節に、他の山から出る粗悪な石の話がある。その粗悪な石に劣らないよう、自分の山から出る石を一生懸命に磨き優れたものに仕上げる意味が説かれたことから、他を参考とする大切さのことを言うようになった。

b 「邯鄲の夢」

↓唐の時代、盧生という青年が、邯鄲の町で仙人から枕を借りて昼寝をしたところ、たちまち出世して八〇年間も栄華をきわめた夢を見た。だが目覚めると、それは黄粱がまだ炊きあがらないほどのわずかな時間だったことから、人生の栄華のはかなさを言うようになった。

c 「白眉」

↓『三国志』馬良伝に蜀の馬氏の五兄弟に関する記述があり、彼らはみな秀才だった。中でも最も優れていた長男の馬良の眉には白い毛が混じっていたという。その故事から、同類の中で最も優れた人のことを白眉と言うようになった。

d 「三顧の礼」

↓『十八史略』には、諸葛孔明は最初蜀の劉備に会おうとしなかったが、三度も訪ねてきた劉備の熱意に打たれ、劉備の軍師として仕えることになった話が書かれている。この故事から礼を尽くして賢者を臣下に招くことを言うようになった。

e 「心頭を滅却すれば火もまた涼し」

↓杜荀鶴の詩の一節に由来がある。心の働きをとどめて無念無想の境地に至れば、火の熱さも感じないことから、心の持ち方一つで苦しさが紛れることを言うようになった。

2 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の説明に該当する作品として適切なものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

イ

約五十年にわたる南北朝の動乱を描いたもの。応安年間（一二三八～一二三五年）前後の成立。後醍醐天皇の鎌倉幕府打倒と建武の新政、それに対する武士の不満から起こる南北両朝の出現、室町幕府の内部抗争などが語られている。楠木正成、新田義貞、足利尊氏らの武士の活躍が生き生きと描かれている。

a 将門記 b 曾我物語 c 保元物語 d 平治物語 e 太平記

- (2) 次の説明に該当する作家として適切なものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

旧制一高で芥川龍之介らと同級である。第三・四次「新思潮」同人として戯曲『父帰る』を大正六年に発表した。京都帝国大学英文科卒業後、短編『忠直卿行状記』を大正七年に、『恩讐の彼方に』を大正八年に発表し注目された。また、戯曲や長編『真珠婦人』などの作品もある。編集や出版に関わる活動にも精力的で、大正十二年には雑誌『文藝春秋』を創刊した。のちに芥川賞と直木賞を設立した。

a 横光利一 b 有島武郎 c 菊池寛 d 武者小路実篤 e 堀辰雄

- (3) 上代の文学の流れに関する説明として誤っているものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

a 壬申の乱に勝利した天武天皇が、自らの政權を正当化するという政治的意図をもって、稗田阿礼が誦習した帝紀と旧辞を太安万侶に撰録させ、和銅五(七二二)年に『古事記』が成立した。『古事記』には文学性豊かな神話や伝承・歌謡などが収められている。

b 元明天皇は諸国に命令をして、国々の地誌を報告させた。こうして和銅六(七二二)年にできたのが『風土記』である。『風土記』には、地方の神話・伝説・説話などがよく残され、当時の地方の人々の生活や心情をうかがうことができる。

c 天武天皇の修史の遺志を継いで、舍人親王らによって養老四(七二〇)年に『日本書紀』が編纂された。これは対外的国威発揚を意図したもので、正史としての記録性を重視しているため、『古事記』に比べて文学性は低い。

d 伝統的な和歌が盛んに詠まれる一方で、中国大陸の文化や諸制度がしきりに摂取されるなか、中国の詩文への関心が高まり、漢詩文の創作がなされるようになった。こうしたなかで、天平勝宝三(七五二)年には、現存する最古の漢詩集『歌経標式』が成立した。

e 大伴家持が八世紀後半ごろに二十巻に編集したと考えられているのが、現存する最古の歌集の『万葉集』である。歌人は天皇から庶民にまで及び、歌風も全体として写實的・具象的で、素朴な感情を素直に詠みあげている点に特徴がある。

(4) 明治時代の詩歌、戯曲の流れに関する説明として誤っているものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

a 明治三十年、島崎藤村は『若菜集』を刊行し、近代詩に新しい時代を画した。浪漫主義の流れは藤村から与謝野鉄幹、晶子らに受け継がれ、雑誌『明星』を拠点とし、窪田空穂、高村光太郎、石川啄木、北原白秋など多くの詩人、歌人を輩出し、かれらは明星派と称された。

b 明治二十年代後半、落合直文や佐佐木信綱などによる短歌革新の機運が高まり、三十年代には、雑誌『明星』で窪田空穂が歌集『みだれ髪』で官能と自我の解放を情熱的にうたいあげた。明星派には空穂を始め、啄木、白秋らのすぐれた歌人が集まり、三十年代の歌壇の中心的存在となった。

c 正岡子規は『歌よみに与ふる書』を書いて、短歌革新に乗り出し、『古今和歌集』を否定して『万葉集』を尊重し、写生を主張した。子規の根岸短歌会には、長塚節、伊藤左千夫らが集まり、『明星』と対抗する勢力となった。また、左千夫が創刊した『アララギ』には斎藤茂吉、島木赤彦、土屋文明などが結集し、根岸派と呼ばれた。

d 短歌と同様、俳句も江戸以来の旧派の勢力が強かったが、明治二十年代の中ごろ、正岡子規は旧派を月並俳句として排し、俳句の革新運動を展開した。子規は芭蕉を批判して蕪村の句を評価したが、三十年代に入ると子規の主宰する俳誌『ホトトギス』に高浜虚子、河東碧梧桐らが集まり、俳壇の一大勢力となった。

e 戯曲では明治二十年前後から演劇改良運動が盛んになり、坪内逍遙はシェークスピアや近松の研究を通して史劇の改良を志した。新しい時代の世相風俗を写した新派劇が始まり、尾崎紅葉の『金色夜叉』、徳富蘆花の『不如帰』、泉鏡花の『滝の白糸』などといった、今日新派の古典に数えられている演目が次々と上演された。

【選択問題 中学校】

第6問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)と(2)は、平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領国語における「第2 各学年の目標及び内容」の第2学年の「2 内容〔知識及び技能〕(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」及び「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている事柄である。

・

に該当するものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、

について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。

- a 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係
- b 主語と述語のつながりや文法事項
- c 文章全体と部分との関係
- d 文章の構成や論理の展開、表現の仕方
- e 文の成分の順序や照応など文の構成

(2) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主體的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、

自分の思いや考えを深める学習の充実を図ること。

- a 話や文章の種類とその特徴について理解し
- b 言葉の特徴や使い方などを理解し
- c 話や文章に含まれている情報の扱い方を理解し
- d 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し
- e 話し言葉と書き言葉の特徴について理解し

2 次の(1)～(3)は、『中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 国語編』(平成29年7月)に示されている「内容」に関する問題である。それぞれの問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、第1学年の内容 1 「知識及び技能」(2) 情報の扱い方に関する事項「情報の整理」に関する解説の一部である。文章中の **ウ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

引用する際には、文章に限らず、図表やグラフ、絵や写真などについても同様に扱うことに留意する必要がある。出典については、その媒体に応じて、書名、著者名、発行年や掲載日、出版社、ウェブサイトの名称やアドレスなどを示すことにより、著作権に留意するとともに、**ウ** ことが必要である。

- a 情報の受け手が出典を知ることができるよう配慮する
- b 自分の考えが伝わる文章になるように工夫する
- c 「読むこと」の指導事項との関連を図る
- d 情報の信頼性を十分吟味する
- e 多様な読み手を説得できるようにする

- (2) 次の文章は、第2学年の内容 2 「思考力、判断力、表現力等」C 読むことの「考えの形成、共有」に関する解説の一部である。文章中の **エ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付ける際には、関連する知識や経験を想起して列挙するのみでなく、**エ** ことが重要である。読み手がもつ知識や経験は一人一人異なることから、どのような知識や経験と結び付けるかによって、同じ文章を読んでも考えは多様なものとなることが考えられる。

- a それらと結び付けながら、文章に表れているものの見方や考え方と比べたり、他者の考えと比べたりする
- b 学習過程を通して理解したことや評価したことなどを結び付けて自分の考えを明確にもてるようにする
- c それらと結び付けることによって、理解したことや考えたことを一層具体的に明確なものにしていく
- d それらと文章に表れているものの見方や考え方とを比べながら、自分の考えを確かなものにしていく
- e 他者の考えやその根拠、考えの道筋などを知り、共感したり疑問をもったり自分の考えと対比したりする

- (3) 次の文章は、第3学年の内容 2 「思考力、判断力、表現力等」B 書くことの「考えの形成、記述」に関する解説の一部である。文章中の **オ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

表現の仕方を考える際には、目的や意図、題材などに合わせて、第3学年までに学習した表現に係る様々なことを活用しながら工夫することが重要である。例えば、同じ内容を伝える場合も、**オ** ことで、より分かりやすく伝えることができる。また、文章の種類によっては、例えば、内容のまとまりごとに見出しを付けたり番号を振ったり、注釈を付けたりする工夫も考えられる。

- a 文章を書く目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめながら、文章全体を整える
- b その表現がどのように働いているかを考えながら、より効果的な表現を選んで描写する
- c 読み手の立場に立って、表現の効果を確かめたり、説明や具体例を加えたりする
- d 根拠となる複数の事例や専門的な立場からの知見を引用する
- e 幾つかの表現の中から適切な表現の仕方を選んだり、外部の資料を引用したりする

【選択問題 高等学校】

第6問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)は、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領国語における「第2款 各科目」に示されている事柄である。

ア

～

ウ

に該当するものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。ただし、(1)は「第一 現代の国語」の「2 内容」〔知識及び技能〕(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する事項」(2)は「第一 現代の国語」の「3 内容の取扱い」、(3)は「第二 言語文化」の「1 目標」に示されている事柄である。

(1)

ア

 など情報と情報との関係について理解すること。

- a 主張とその前提や反証
- b 主張と論拠
- c 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方
- d 論理の展開や表現の仕方
- e 個別の情報と一般化された情報

(2) 「B書くこと」に関する指導については、

イ

 単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。

a	10	～	20
b	20	～	30
c	30	～	40
d	10	～	30
e	20	～	50

(3) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、

ウ

、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

- a 生涯にわたって他者や社会と関わって
- b 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養い
- c 言語を通して他者と円滑に相互伝達、相互理解を進めて
- d 言葉がもつ価値への認識を深め
- e 他者との関わりの中で伝え合う力を高め

2 次の(1)と(2)は、『高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 国語編』(平成30年7月)における「第1章 総説」の「第3節 国語科の目標」と「第4節 国語科の内容」に関する問題である。それぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、「1 教科の目標」の「言葉による見方・考え方」に関する解説の一部である。文中の **工** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

言葉による見方・考え方を働かせるとは、生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。様々な事象の内容を自然科学や社会科学等の視点から理解することを直接の学習目的としない国語科においては、言葉を通じた理解や表現及び **工** を学習対象としている。このため、「言葉による見方・考え方」を働かせることが、国語科において育成を目指す資質・能力をよりよく身に付けることにつながるものとなる。

- a そこで用いられる言葉そのもの
- b 国語で表現された内容や事柄
- c 国語で表現された様々な事物、経験、思い、考え等
- d 文化的に高い価値をもつ言語そのもの
- e 文化的な言語生活

(2) 次の文章は、「3 「思考力、判断力、表現力等」の内容」の「A 話すこと・聞くこと」の「表現、共有(話すこと)」に関する解説の一部である。文中の **オ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

「現代の国語」では、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように、「国語表現」では、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、 **オ** ことを示している。音声表現は、そのままでは形に残らないものであるため、表現を工夫することが重要である。

- a 相手の理解が得られない部分を的確に捉え、臨機応変に表現していく
- b 内容が相手に正確に伝わるように、適切に表現する
- c 実際に話す状況に照らしながら、表現の効果を考える
- d 相手の同意や共感が得られるように、表現を工夫する
- e 相手の理解が得られるように、表現の仕方に留意する

【選択問題 特別支援学校】

第6問 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和4年12月に文部科学省より示された「生徒指導提要」の一部である。

発達障害を含む障害者への差別の解消に関して、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律では、障害を理由とする「」の禁止と障害者への「合理的配慮の提供」が求められています。とは障害者の権利利益を侵害することです。合理的配慮の提供とは、から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合は、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮に努めなければならないということです。

- (1) 空欄アに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 不当な差別的な取扱い b 活動の制限
c 各種機会の提供の拒否 d 選挙活動の制限

- (2) 空欄イに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 学級担任 b 障害者
c 医師 d 関係者

- 2 次の文は、令和3年9月に文部科学省から通知された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行について（通知）」にある「留意事項」の一部である。

文中の ウ ～ オ に当てはまる語句を下の1～9の中から一つずつ選びなさい。

(1) 定義（第2条関係）

- ① 「医療的ケア」の定義は、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の ウ であり、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「学校」という。）において、 エ の指示の下、医療的ケア看護職員や喀痰吸引等（社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する喀痰吸引等をいう。以下同じ。）を行うことができる介護福祉士、認定特定行為業務従事者（社会福祉士及び介護福祉士法附則第3条第1項に規定する認定特定行為業務従事者をいう。以下同じ。）が従前から行っている医療的ケアの範囲を変更するものではないこと。（第2条第1項関係）
- ② 「医療的ケア児」の定義は、日常生活及び社会生活を営むために オ に医療的ケアを受けることが不可欠である児童であり、18歳未満の者に加え、18歳以上の者であって、高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部に在籍する者も含まれること（以下「児童生徒等」という。）。（同条第2項関係）

- | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1 学校長 | 2 医療行為 | 3 定期的 | 4 医師 | 5 健康管理 |
| 6 恒常的 | 7 養護教諭 | 8 緊急的 | 9 看護行為 | |

ウエオ

- 3 次の文は、「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

児童生徒一人一人の学習状況を に評価するため、 の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが重要である。一つの授業や単元，年間を通して，児童生徒がどのように学ぶことができたのかや，成長したのかを見定めるものが学習評価である。

（中略）

なお，教科別の指導を行う場合や各教科等を合わせて指導を行う場合においても， の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが必要である。

- (1) 空欄カに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 長期的 b 短期的 c 効率的 d 多角的

- (2) 空欄キに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 自立活動 b 6区分27項目 c 各教科 d 各段階

- 4 次の文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

自立活動は，特別支援学校の教育課程において特別に設けられた である。この自立活動は，①授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし，各教科等の指導においても，自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。このように，自立活動は，障害のある幼児児童生徒の教育において，教育課程上重要な位置を占めていると言える。

- (1) 空欄クに入る語句を，次の a～d の中から一つ選びなさい。

a 指導形態 b 指導領域 c 教科 d 専門教科

- (2) 下線部①「授業時間」について，「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月）」では，児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じてどのように定めるとされているか，次の a～d の中から選びなさい。

a 年間10単位時間から280単位時間までを標準とする。
 b 年間35単位時間から280単位時間までを標準とする。
 c 年間7単位を超えない範囲で定めるものとする。
 d 適切に定めるものとする。

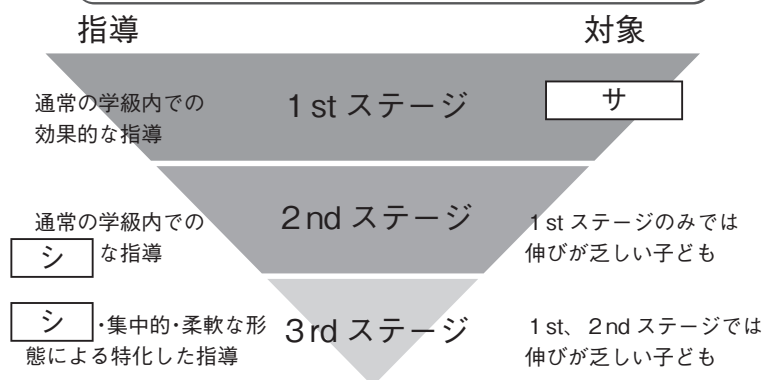
- 5 次の文は、高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック [改訂版]』（令和3年3月）の一部を示したものである。

文中の コ ～ ス に当てはまる語句を、下の a～d の中からそれぞれ一つ選びなさい。

(2) 通常の学級における学習につまずきのある子どもへの支援の在り方

通常の学級において、学習につまずきのある子どもへの対応を考える上で、多層指導モデル（MIM）が参考になります。これは、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を提供していこうとするモデルであり、特に子どもが学習に コ に、また、つまずきが重篤化する前に指導・支援を行うことを目指すものです。MIMでは、まず1stステージでは、通常の授業の中で質の高い指導を サ に実施します。2ndステージでは、1stステージのみでは伸びが十分でない子どもに対して、通常の授業に加え、その他の時間帯等も使いながら、 シ な指導を行っていきます。その子ども向けの教材、その子どもに向けての指示等、通常の学級内での シ な指導ととらえます。3rdステージでは、1stステージ、2ndステージの指導を行ってもなお、伸びが乏しい子どもに対し、より個に特化した集中的な指導を実施します。 シ ，集中的に柔軟な形態での特化した指導を目指します。指導の場としては、通常の学級内にとどまらず、 ス 等での指導も考えられます。

通常の学級における多層指導モデル
(Multilayer Instruction Model:MIM)



引用文献

「通常の学級における学習につまずきのある子どもへの多層指導モデル（MIM）開発に関する研究」海津他【2008】

コ

- | | |
|------------|-----------|
| a つまずいた時 | b つまずく前 |
| c 興味がもてない時 | d 集中できない時 |

サ

- | | |
|--------------|------------------|
| a 全ての子ども | b 特異な才能のある子ども |
| c つまずきのある子ども | d 特別な配慮を必要とする子ども |

シ

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| a 発展的 | b 総合的 | c 横断的 | d 補足的 |
|-------|-------|-------|-------|

ス

- | | |
|----------|-------------|
| a 居住地校交流 | b 通級指導教室 |
| c 適応指導教室 | d 交流および共同学習 |

